

岐大通 2010

2010J.League Division2 第1節 愛媛FC 戦

7/24(土) 18:00~ @長良川球技メドウ

主役は野垣内！（いろいろな意味で……） 岐阜 1-0岡山【第1節】

FC岐阜は長良川で岡山と対戦し1対0で勝利。前半に野垣内選手の先制点を守り抜き1対0での勝利。次も勝とう。これからもサポーターがFC岐阜の応援を。FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

中断前の最後のゲーム。内容はともかく、勝って休みを迎えられたのはよかった。開始早々に野垣内がサイドを破られてクロスを上げられたのには冷や冷やものだった。すぐにその後同じような展開が訪れることになる。左SBで生き生きしている秋田のクロスが流れて逆サイドから詰めたのは、先ほどピンチを招いたばかりの野垣内。左SBのクロスが右SBが決めるなんて（笑）「なんでお前がそこにいる！？」というような形は、かつて在籍した平岡直起を彷彿とさせるようだった。初ゴールおめでとう。この試合でサプライズだったのは川島のボランチでの起用。正直本番の試合でボランチなんて見られないと思っていたので（笑）結果的にDFラインの前に大きな壁となって立ちただかって長いボールをことごとく跳ね返してくれていた。それだけに黄紙2枚での退場は非常に不運。完全にボールにいていたプレーだったのにレフリーのジャッジには納得がいかなかった。退場さえなかったら、彼にMVPをあげてもいいくらいだったと思う。数的不利になってサイドからクロスを上げられまくったけれど、岡山のフィニッシュの精度のなさに救われた。もちろん恭平のビッグセーブもあったけれど、あれだけクロスの本数だったら1~2本は決められてもおかしくはなかった。

ここまで7勝10敗。ゲーム内容は別としてそれなりに結果は出せてきている。しかし、今足りないのは終了後の今西社長の言葉にあった「ひたむきさ」だと思う。中断期間中にはキャンプも開催されるとのこと。この中断期間を有意義に活用してもらって再開後サポーターが熱いプレー、熱いゲームが見られることを期待したい。（岐阜の誇り）

苦しみぬいての勝利。しかし、関東アウェー2連戦に行ってきたが、あまり課題が改善されていないような感じがした。

守備面において、「ボールウォッチャーになりすぎている」場面が多々あるという事。例えばキックオフのボールを奪われての岡山の最初の攻撃。ボールは左サイドから展開していたが、右にフリーマンが2人いて、うち1人は猛ダッシュして走り込んで来る。

「危険だ！」と思った次の瞬間にはもうクロスボールは入っていた。相手のシュートミスに命拾いしたただけだ。また、この日はDFとGKの間のボールの処理で判断を誤り、ピンチを招く、というシーンも見受けられた。これらも含め、意思疎通がまだまだだし、「声一つ」で防げる場面もある気がする。

DF陣にはより一層の安定感の向上を求めたいし、恭平には負担を増やすようだが、DF陣へのポジショニングのコーチングなど、「GKの声は神の声」と言われる所以を發揮してほしい。

攻撃面に関しては「難しく考え過ぎている」気がする。栃木、横浜FC戦でも再三見られたが、ワイドでフリーで待ち構えているのに使わない（あるいは見えていない）、中央に固執したりする。シンプルに使ってやれば形は作り易いし、ボールを取られたらワイドのプレーヤーは帰陣しなければならぬ。元日本代表・相馬直樹氏が語るように、帰陣の際の体力の消耗度は何倍にも膨れ上がる。「ムダ走り」を避けるためにも使ってやるべきだ。そうすれば簡単に点が取れるのではないか。サッカーはそんなに難しいスポーツではない。手詰まりになっている時はえてして何か見落とししている時がある。

そして「試合の終わらせ方」。1点リードした前半残り5分。「追加点取りに行くのか」「ハーフタイムまでリスクを冒さないのか」イマイチ戦い方が見えてこなかった。言い古された言葉だが、残り5分は「魔の時間帯」と言われる。行くなら行くでフィニッシュで終えたいし、キープならマイボを失わないよう、全員で確認したい。また、注文が多いようだが、後半について言わせてもらおうと、退場者を出した時点で相手に支配されるのは分かり切っている事なので、低い位置では「回させておいて」、狙いどころを絞ってボール奪取、カウンターか、相手GKやDFラインにミスがあったように、不安定なところに潰れ込み、引き続き戦い方を変えないのか。それならそういった「方策」を示して欲しかった。10人となり体力面、判断力でキツイ部分はあったのかもしれないが中途半端なプレーが多すぎた。

勝ち点3をゲットして中断といういい流れだが、素直に喜べないのは相手が岡山だからだ。冒頭に述べた「ボールウォッチャー」の件も、大黒のようなストライカーがいる栃木、横浜FCにはやられている。この課題を修正しない限り、上位への道は険しいだろう。しかし、10人で押されて押された時間帯を凌ぎきったのはまた事実。こういった試合を一つ一つ積み重ねていこう。今は本当に成長過程だと実感している。（もうすぐ長良川花火大会だね）

岡山戦については裏面にも続きがあります！

today's guest

愛媛FC

2009 J2第15位
J2通算対戦成績：1勝2分3敗

2009成績
第0節 09/03/21 愛媛3-0岐阜
第2節 09/07/12 岐阜2-愛媛
第4節 09/10/25 岐阜3-愛媛

2010J2 順位表 第1節

(#は消化試合が1多い)
勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	柏	43p	+24	33	9	H
2	甲府	37p	+15	31	16	H
3	千葉	31p	+12	30	18	A
4	福岡	29p	+13	29	16	A
5	鳥栖	28p	+2	24	22	A
6	熊本	27p	-3	17	20	A
7	栃木	26p	+7	21	14	A
8	徳島	26p	-1	24	25	A
9	東京V	23p	+3	17	14	H
10	札幌	23p	-1	19	20	H
11	岐阜	21p	-10	13	23	---
12	横浜FC	20p	-2	25	27	A
13	愛媛	20p	-2	14	16	A
14	水戸	20p	-5	13	18	H
15	大分	19p	-2	23	25	A
16	富山	16p	-13	19	32	H
17	岡山	15p	-11	9	20	H
18	草津	13p	-13	15	28	H
#19	北九州	11p	-13	9	22	A

次回 HomeGame

第2節
ロアッソ熊本戦

8/8(日) 18:00
@長良川球技メドウ

投稿募集！

gidaidohr@hotmail.co.jp

FC岐阜大好き通信(岐大通)
7/24号
編集発行：『岐大通』製作委員会
今号の製作担当：ささたく&吉田鎗造

編集子より
ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンは2年ぶりに「全ホームゲーム」での発行を目標にしますので、よろしくお願致します。

「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休：日曜日(今日は営業しています)

W杯による中断前のラスト・ゲーム、それもホームのメドウで勝利を飾る。久々の歓喜といささかの安堵を得られたことは何よりだった。

一方、なんとなくこの試合を見に来た人がいたら、キックオフから1分もたたないうちに、あわや失点、という大ピンチに遭遇したチームがその場面から1分たつたないかのうちに得点してしまうという波乱万丈、荒唐無稽な展開を十分楽しめたのではないだろうか。しかも、得点シーンは、敵陣を深くえぐった左SBからのグラウンダーのクロスを反対側のSBが蹴り込むという痛快な状況。そのうえ直前の場面で岡山のFKからのロングボールを競りにいき、その結果対峙する相手選手をどフリーにして「一点どうぞ。」と言わんばかりのクロスを上げさせ、あわやの大ピンチを誘発したのがこの試合唯一の得点を決めた選手なのだから、これはもうかなり出来のいいエンターテインメントだったんじゃないかな？ B級コメディとしては.....。

もちろん、多少の皮肉が入ってるんですけどね（苦笑）。試合のシュート数は10対13。しかし、どちらかといえば岡山に攻められていた感が強い。特に、川島が退場してからは防戦一方。キックオフ直後のシュートを含め「岡山は得点するのがイヤなんだろう？」と思うような幸運が続く。試合後「相手が岡山でよかった。」と正直そう思った。入り方も含めた試合運び、プランとかはどうなっているのか。結果が出なくても、ほぼ同じスタイルを崩さなかったスタメンを、わざわざ中断直前のこの試合で変えたことにはどんな意味があるのだろう。優大の位置、押谷の位置、橋本、秀人、秋田はどう並べるのがベストだろうか。洗一の復調はいつか？ 富成と野垣内の比較は？ 考え出したらきりが無い。監督もいろいろ悩みがあるだろうが、なにしろ監督自身が初体験のことばかりだろう。共に悩む一年なのかな？

中断期間中に戦力補強、補充したクラブもある。前半戦の経験、データが活かさないこともあるかもしれない。とはいえ、岐阜にも池上という新戦力が加入した。キャンプやTMもこなし、ある程度の準備は出来たに違いない。とにかく、自分でできることはスタジアムに足を運び、戦っている選手をアゲることだけ。いよいよ岐阜にとってのリーグ再開。今季終了まで選手と共に「前進あるのみ」！（ぐん、）

W杯中断前の最後の戦い。勝ち点の状況を考えても、また気持ち良く中断期間を迎えるためにも、正に負けられない一戦。そのためか、今節は大幅に布陣を変更して臨むFC岐阜。CBに田中、SBに秋田、ボランチに橋本、FWに西川... 昨年の慣れたポジションに戻したのかな？ って感じ。これで、前節のアウェイ横浜FC戦での「まだゾーンディフェンスに慣れていないため形にこだわりすぎて、持ち味であるはずの『ひたむきに最後まで走りきるサッカー』が影を潜めている」（僕からは見えてしまった）チームの勢いをホームで取り戻したい... と思っていたキックオフ直後にいきなり、野垣内がフリーでクロスを上げられて、G前ドフリーの大ピンチ！ を相手が外してくれて一安心。しかし最初からこれでは... と思ったら、その直後に今度は秋田のクロス 野垣内が押し込んで先制点！ いやはや、こんな早い時間帯に得点した試合って今まであったかな？ しかも見事な両SBからの崩して... と思ってしまう（笑）。

このまま追加点を... と思っていたのだけど、何度も決定機と被決定機を迎えながら、その後は両者無得点のまま前半戦終了（苦笑）。後半序盤は互角だったけれど、川島がイエロー2枚で退場。その後は完全に防戦一方... と思っていたのだけど、録画を見返してみると、現地で感じたよりは（比較的）堅実に守っていた。選手達が必死に走り気迫のこもったプレーが、そしてスタジアム全体の「勝ちたい」という空気が、そんな風に思わせただのかもしれない。ひたむきに最後まで走りきって掴み取った、FC岐阜らしい勝利だったと思う。

さて、今節はいよいよ約1ヶ月の中断明けの試合。岐阜が休みだった前節、下位のチームが上位を破る試合が多かったと思う。つまり、中断期間にどれだけ修正や成長が図れたかが問われる、そして後半戦に向けて、リセットされた勢いを掴めるかが問われる大事な試合だと思う。そして何よりも、1ヶ月以上もFC岐阜の公式戦を見れていないのだ。2回目の開幕戦を迎える気分と言っても良い。勝ちたい。そして昨年同様、夏に強いFC岐阜を魅せてほしい。（ささたく）

左サイドを駆け上がってきた秋田の速いクロスに野垣内が体を投げ出しながらかわして先制。この試合で初めて攻め込んできた2分すぎのシーンがこれだ。この後、どんなスペクタクルが観られるだろうと期待してみる。染矢の積極性がすごい、ゴールラインを割ってしまいそうなルーズボールも諦めず追いかける。ソコには執念のようなものが感じ取れた。ハングリーさというべきか。

ただしこの後次第に岐阜の動きはちぐはぐになってしまいゴールの匂いはしなくなる。一方の岡山もサイドをえぐってクロスを放り込んでくるものいかにせん最後が正確さを欠いている。川島の退場もあって最後は守備の意識が高くなった分守り切ることができた試合、ということだろうか。まだまだ試行錯誤が続くそうだけど徐々に「岐阜の韋駄天バモ染矢」の片鱗が見られてよかった。（ST57）

【U-18】リーグ戦初勝利！

FC岐阜ユースU-18（以下ユース）は今年「G2リーグ」に参戦していますが、第5節が終わった時点で0勝5敗の最下位（涙）。非常に苦戦しています。クラブユースサッカー選手権の東海予選では勝っているだけに不思議な感じです。そんな中で7月10日に瑞浪市で行われた第6節「大垣北高校戦」を応援に行ってきました。試合は14時キックオフ。梅雨の合間の暑い日差しの中で試合は行われました。前半は「これが未勝利のチーム？」と想像出来ない程に安定した試合運びにビックリ。セカンドボールはユースの選手が殆ど拾えるし、パスもドリブル突破もスイスイ。2度有った得点シーンもラストパスが通った時に「あっ、これは決まるぞ！」と思えるような綺麗なシュート。前半終了時点で2対0は納得のスコアでした。後半はこのままでは負けてしまう相手チームが選手交代を有効に使って、ガシガシ攻めてきます。一方のユースの選手は前半飛ばし過ぎた為か、前半程は走れなくなってきます。そんな中で1点を追加する事に成功したユースが相手を突き放したかに思いましたが、その直後に逆に1点返されてしまい、試合の主導権を握るのに失敗。最後は守備の時間が多くなって防戦一方でしたが、何とかそのままゲームセット。3対1で今期リーグ戦での初勝利を得る事が出来ました。試合終了後の選手達の嬉しそうな顔が廻りに伝染して、多分私もニコニコ顔だったと思います。こうして1勝する事が出来ましたが、リーグ戦は残り3試合。「G2」に残留する為には残り試合全勝しても、他チームの試合結果次第という非常に厳しい状況に変わり有りませんが、目の前の1試合ずつ確実にモノにしていき、残留を勝ち取って欲しいと思います。頑張れ！ 緑の若人達よ！！（シュナ）

【セカンド】2年連続出場はならず.....

FC岐阜セカンドは、10月に山口県で開催される「全国社会人サッカー選手権大会」の東海予選に挑みました。初戦は吉田美装（静岡県）に4-1で勝ちましたが、出場決定戦では昨年度の東海リーグ1部優勝・矢崎バレンテに挑み、残念ながら0-1で敗退。2年連続の『全社出場』出場はなりませんでした。今後は、東海リーグ2部（現在首位）優勝と1部昇格、天皇杯本大会出場を目標に戦っていきます。もう一つ、おそらくセカンドの選手も選ばれるであろう、岐阜県成年男子としての千葉国体の出場権獲得も大きな目標となります。FC岐阜セカンドへの応援もよろしくお願い致します。（吉田铸造）

ALADDIN

何も無い店だけど・・・心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.honj-woodream.com/>